家庭学習の手引き

桐生市立北小学校

目　次

わたしのかていがくしゅう・・・・・・・・・・・・・ ３

１　家庭学習Ｑ＆Ａ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４

２　家庭学習の習慣を見つける方法 ・・・・・・・・ ５

３　家庭学習の時間のめやす ・・・・・・・・・・・・・・ ５

４　各学年の家庭学習について

低学年用学習計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６

中学年用学習計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８

高学年用学習計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０

高学年用作文の手引き ・・・・・・・・・・・・・・・・ １２

わたしのかていがくしゅう

家庭で話し合って、決めたことを書いておきましょう。

家庭学習の手引き

～　桐生市立北小学校　～

Q なぜ家庭学習が必要なのでしょう？

A 小学校の学習は、生活の基礎・基本となる基礎学力です。この基礎学力は、将来児童が自立する上で土台となる重要なものです。子どもたちは、学校で意欲的に学習に取り組み、努力していますが、単元が、進んでいく中で、既習内容を忘れてしまうことがあります。

家庭学習との連携で、繰り返し反復することが必要です。学校と家庭での繰り返しの学習は、基礎学力の定着にたいへん効果的です。

Q 毎日の家庭学習を通して、何が身に付きますか？

A これからの時代を生きていく子どもたちにとっては、「自ら学ぶ意欲」を身につけさせることが大切です。大きくなるにしたがって、人から教わったことより、自分で学ぶことの方が増えてきます。自主的な学習態度が身についた子どもは、いろいろなことに興味をもち、次々と新しい知識を獲得していきます。そのほかにも、

・小学校で学習した内容が確実に身に付きます。
・自然に机に向かう姿勢が身に付きます。
・自分を律し、やるべきことができる意志の強さが身に付きます。
・けじめのある生活態度が身に付きます。

Q 家庭学習で、何を学習すればよいのでしょう？

A 勉強をしようと思っていても、何から勉強すればいいか自分だけでは決められない場合があります。家庭学習が習慣化されるまでは、保護者の方と計画を立てて進めていくことが必要です。

＊　学習内容は、各学年のページをご覧下さい

特に、算数・国語の学習内容は、ピラミッドのように積み重ねていくものです。各学年での学習内容を、確実に身に付けることが大切です。

家庭学習の習慣を身につける方法

毎日かならず学習する

低学年カレンダーに印をつけたり、シールをはっていくなど楽しく習慣化できるよう工夫してみてください。

はじめに、ルールを決めておく

・学習する時間（夕飯の前に終わらせるなど）
・テレビを消す（集中できる学習環境を作る）
・学習道具をそろえ、机の上を整理する
・終わったら、明日の準備をし、鉛筆をけずる。

学習場所を確保する

リビングや台所など保護者の目が届く所で安心して学習する。保護者は、音読を聞いてあげたり、わからないところを一緒に考えてあげるなどして、児童にとって、あたたかく安心できる時間にしてください。高学年は、１人で集中したい場合もあります。個々に応じて対応してください。

ほめて、やる気をのばす

自分から学習を始める。決められた時間に学習できた。学習意欲が見られる。など、学習に積極的な態度が見られた場合は、大きくほめてください。もっとがんばりたい・もっとほめられたい、という気持ちが、次の家庭学習へとつながります。
また、その日の学習内容は、できるだけ目を通してください。

家庭学習の時間のめやす

少なくとも

低学年	中学年	高学年
20分	30分	40分

家庭学習は、継続することに意味があります。自分のペースに合わせて無理のない時間で毎日続けましょう。

かていがくしゅうのけいかく

== 低学年用 ==

一日のもくひょう　　分

よう日ごとのかていがくしゅうけいかく

	月	火	水	木	金
３時					
４時					
５時					
６時					
７時					
８時					

べんきょうする時間に色をぬろう。
しゅくだいがおわったら、じしゅべんきょうをしましょう。

じしゅべんきょうメニュー

しゅくだいに　なかったものを　やってみよう

・かん字　お手本をまねしてかきます。

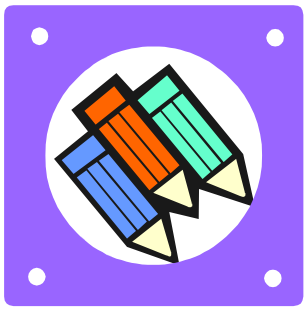
・きょうかしょをうつす

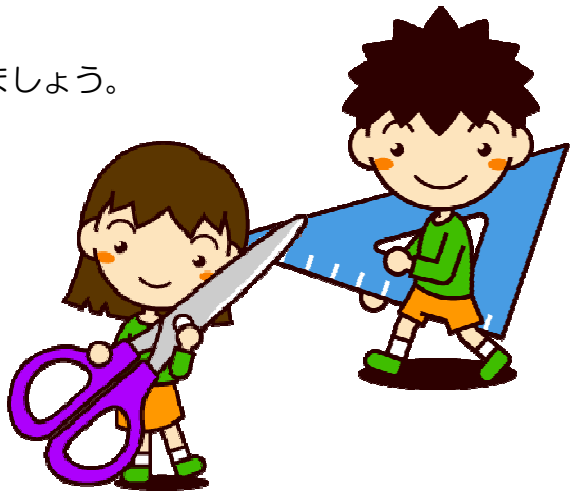
・きょうかしょを音どくする

・けいさんドリルやきょうかしょ
（もんだいを、ノートにうつしてけいさんする）

・けんばんハーモニカのれんしゅう

おわったら、「しゅうよてい」や
「れんらくちょう」であしたのじゅんびをしましょう。
えんぴつけずりもわすれずに！





家庭学習の計画

== 中学年用 ==

一日の目標　　分

曜日ごとの学習計画

曜日	はじまり	おわり	学習メニュー	ならいごとなどの予定
例	５：３０	６：１５	②	ピアノ 4:30～5:00
月				
火				
水				
木				
金				
土				
日				

家の中のよく見るところにはっておきましょう。

基本は、宿題（音読・漢字・算数プリント）です。
自分で答え合わせをして、なおしを必ずします。
なぜまちがったのか、じっくり考え、完結させる
必要があります。

宿題が、３０分以内で終わった場合は、自主勉強
をしましょう。自主勉強は、復習が中心です。

自主勉強メニュー

自主学習ノートを準備します。学校で配られたものはそれを使う。

①　その日の授業のノートをもう一度書き写す。
②　習い終わったところの教科書を音読する。
　（理科や社会などすべての教科）
③　教科書の大事なところや、好きな文章・絵や図など書き写す。
④　計算スキルを、もう一度やってみる。
⑤　漢字練習
⑥　意味調べ
⑦　読書記録カード：いろんなジャンルの本を読みましょう。
⑧　市販のドリル（１日１枚必ずできるレベルのもの）
⑨　リコーダー練習
⑩　…

その他

左の表で計画を立てたら、カレンダーやカードにその日行った学習メニュー番号を書いて、けい続の様子が一目でわかるように工夫しましょう。

家庭学習の計画

== 高学年用 ==

一日の目標　　分

曜日ごとの学習計画

曜日	はじまり	おわり	学習メニュー	ならいごとなどの予定
例	５：３０	６：１５	②	ピアノ 4:30～5:00
月				
火				
水				
木				
金				
土				
日				

家の中のよく見るところにはっておきましょう。

基本は、宿題です。
宿題にないメニューを組み合わせて
みましょう。

自主勉強メニュー

自主学習ノートを準備します。学校で配られたものはそれを使う。

① その日の授業のノートをもう一度書き写す。
② 習い終わったところの教科書を音読する。
③ 教科書の大事なところや、好きな文章・絵や図など書き写す。
④ 計算ドリルを、もう一度やりなおす。
⑤ 漢字練習（書けるようになるまで）。
⑥ 自由読書。
⑦ 社会の教科書の音読。歴史上の人物・時代背景について社会科資料集をもとにノートにまとめる。
⑧ 理科の教科書で自然の事物や、現象の仕組みを解説した図をノートにかく。
⑨ 意味調べ
⑩ 作文

その他

チャレンジ

土日を利用して、作文にチャレンジしてみよう
（続けると、表現力が身に付きます）
作文：２００字程度の短い文からチャレンジ
「私の宝物」「友だち」「環境」「好きな季節」などいろんなテーマで
情報ノート：興味・関心のある新聞記事につて、意見・感想をまとめる

日記：５ Ｗ １ Ｈ を意識して書いてみよう
Who（誰が）・What（何を）・When（いつ）・
Where（どこで）・Why（なぜ）・How（どのように）

なたもだ法　～ 高学年用 ～

はじめに意見が一行あれば、

私は(ぼくは)、こう思う。	意見や感想を書きます。
⇩	
なぜなら・・・・・	そう思った理由を書きます。
⇩	
たとえば・・・・・ ---------- **も**しも・・・・・	とにかく、例を書きます。 「なぜなら」の説明を具体的な例を挙げて説明します。 想像したことなどを「もしも…」として書きます。
⇩	
だから・・・・・	まとめます。

「**な・た・も・だ**」は、文章の書き方の一例です。

必ず、この言葉を使うわけではありませんが、
１つの作文の構成法として、覚えておくとよいでしょう。

＝活用例＝

3ますあける

□□□未来に残したいもの

○○　○○

な　私は、自然を残したいと思う。**な**ぜなら、自然が減っていると感じているからだ。

た　**た**とえば、私の家の前には、草原のような広い空き地があった。キジが住んでいて、会えるのを楽しみにしていたが、あっという間に、大型スーパーが建てられた。草原は、アスファルトで埋めつくされてしまった。

も　**も**し、自然がどんどんアスファルトに変わっていったら、どうなるだろう。自然の生き物たちや、木や草花がなくなってしまう。とてもさびしい風景だ。

だ　**だ**から、美しい自然を、未来に残したいと思う。